

特別の教科道徳 学習指導案

第2学年2組 令和3年11月22日(月) 第6校時(2年2組教室) 指導者: 中村 万里

研究テーマ

「考え、かかわり、学びをつなぐ力をもった児童の育成」
～ 思考を深める「振り返り」＝「ひとり学び」の充実(3年次) ～

考え、かかわり、学びをつなぐ授業の創造

- (1) かかわりの目的や、思考の視点の明確化
- (2) 学びをつなぎ、高める指導の工夫(発問、指示、問い返し、学習モデルや条件の提示、スキル)
- (3) 思考を深め、可視化する、効果的な思考ツールやICTの活用
- (4) 多様なかかわりをつくる学習形態の工夫(個別・ペア・グループ・全体)

<思考を深める「振り返り＝ひとり学び」の充実について>

◎ステップ1 振り返り場面の時間保障とツール選択を意図的に設定する。

・小さい振り返り:深い 振り返り

◎ステップ2 振り返りの視点を提示する(各教科の見方・考え方の育成を軸にして)。

- A. この学習で大切だと思ったこと。
- B. この学習を通してできるようになったこと。
- C. 課題を解決するために試行錯誤したこと。
- D. 参考となった友だちの発言や助言。
- E. 何をきっかけにしてねらいを達成したのか。
- F. 工夫しようとしたが、十分ではなかったこと。
- G. この学習で今後の学習や生活に生かせそうなこと。
- H. もっと考えてみたいこと、新たに疑問に思ったこと。

◎ステップ3 振り返りの質の充実を図る。

1. 主題(教材名・題材名・資料名)

D 主として生命や自然 崇高なものとの関わりに関すること

(17) 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。

資料 「ベイリー、大好き」(小学館) 岩貞 るみ子 文

「こどもたちの目にうつったファシリテイドッグ」(シャインオンキッズ) 藤沢 文翁 文

「もしも病院に犬がいたら」(講談社) 岩貞 るみ子 作

「ベイリーとさっちゃん」(かまくら春秋社) 田村 朗 作 栗冠 ミカ 絵

2. 目標

小児病棟で生活する子どもたちを支える、ファシリテイドッグの活躍を通して、「生きる」ことについて考える。

3. 主題設定の理由

<内容項目・資料について>

入院中の子どもたちに寄り添う、選ばれ訓練された犬、ファシリティドッグ「ベイリー」の絵本や写真集からは、人はいつも生命ある何かとともに生き、支え合って生きていることが必要だと伝わってくる。また、「ベイリー」が寄り添う深刻な事情下の子どもたちの笑顔は、その事情にかかわらず子どもの表情そのものである。「ベイリー」の活躍を描いた絵本は、日本で初めてのファシリティドッグ「ベイリー」が10才になった記念に作られた。

<児童観>

32名の集団は、仲良く見え、あまりめめ事が表面化しない。お互いの生活背景を、ともに過ごした生活体験の中で感じ、思いやっている様子が見え、うかがえる。しかし、相手に対する自分の思いを、言語化し伝えることは、まだ未熟で 遊びの関りにおいても言いたいことをうまく伝えられず、黙り込んでいる場面をよく見る。一方、コミュニケーションに課題を持つ数人の児童は、保護者の考えからか「距離をとる」態度が見える。様々な成育歴、特性を認め、お互いを尊重していくために「いろいろあっても、みんななんとかやっている。」ことを多面的に気づき学んでいってほしいと考える。

<指導観>

もはや待ったなしのSDGsの視点はすべての教育活動に必須である。人間も自然の一部であることを踏まえた上で、自然と人間・人間と人間・人間と動物植物の共生共存、それぞれの多様性を認めることの大切さを学んでいくことを念頭に置く。2年生の学習では、C 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することについて 環境問題にも思いを馳せる「シカのしろちゃん」、動物殺処分を扱った「ハルの日」「クロからのしつもん」、4年生の国語科でも再度出会うであろう「ゾウの森とポテトチップス」、道徳の教科書から「がんばれアヌーラ」、生活科での「野菜を育てよう」「ウサギのモフやんと出会おう」などに取り組んできた。本単元は、その延長線上にある。また、様々な環境で生活している子どもたちを知るために「NHK for school カラフル」から与那国馬との触れ合いを描いたもの、難民生活を描いたものなどねらいを持って視聴させてきた。本教材によって、色々な事情を抱えながら懸命に生きている同年齢の子どもたちがいること、また彼らを支える人々の願いを受けたファシリティドッグがいることを知り、自分の生命も自分以外の生命も等しくかけがえのないものであるという思いを深めてほしい。3学期には、生活科「大きくなったわたし」で生まれてきたことの奇跡と感謝を感じ、さらに毎朝の英語の対話をベースにした道徳の単元「バレンタインボックス」で「うっとりするような手紙」をクラスメイト全員に書き、全員から貰う活動を学年のゴールに見据えている。

・ファシリティドッグについて

ファシリティドッグは、病院などの特定の施設で、職員の一員として活動するために、専門的なトレーニングをつんだ犬です。入院中のつらさにそっと寄りそう「心のケア」を得意としています。子どもたちのストレスを軽減する効果は、研究でも少しずつ明らかにされているそうです。ファシリティドッグの大きな特徴は、病院など毎日同じ施設に勤務し、その施設での個々のニーズに合わせた活動を行えること、時々訪問して触れ合うという短い時間ではなく、多くの時間を同じ犬と繰り返し過ごしていただけることです。勤務する施設のスタッフとして扱われ、患者との交流などを業務として行います。

<https://ja.sokids.org/programs/facility-dog/> シャイン・オン！ キッズ HP より

4. 本時の展開

子どもの意識の連続性	学習活動	教師のはたらきかけ
<p>めあて 「生きる」ってどういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちがあること。 ・しんぞうがうごいていること。 ・かわいいな。 ・ペットかな。 ・「ハル」みたいな犬かな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティドッグの画像を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伏線の発問を投げかける。 ・ベイリーという名前を伝える。
<p>ベイリーは ここで何をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッグランに来ている。 ・保育所で遊んでいる。 ・大人は笑っているな。 ・笑っているから病院だとわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院でくつろぐファシリティドッグの画像をみて何をしているかひとりで考える。 ・ペアで交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見るように伝える。 ・病院であることを伝える。
<ul style="list-style-type: none"> ・初めて知った。 ・盲導犬とはちがうのかな。 ・こわくないのかな。 ・かわいそう。 ・痛そう。 ・楽しそう。 ・友だちが少ないな。 ・学校に行きたいな。 ・友だちと遊びたいな。 ・痛いのがいやだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティドッグについて知る。 ・病院で生活する子どもについて知る。 ・院内学級で学ぶ子どもを知る。 ・この子が思っていることを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティドッグの仕事について画像をもとに説明する。 ・子どもたちの生活について説明する。 ・表情などについて問いかける。 ・自分に引き付けて考えさせる。 ・いくつかの意見を板書。
<p>交流 どうして みんな ベイリーに会いたいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもそばにいてくれるから。 ・大きくてきもちいいから。 ・友だちだから。 ・ベイリーを見ていると自分がふつうと思うんだ。 ・うれしかったかな。 ・すごいな。 ・犬ははやく年をとるんだな。 ・さっちゃんが元気でよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手元の写真を見ながらひとりで、考えて理由を書く。班で交流し、友だちの考えを知る。 ・真子ちゃんのことを聞く。 ・ベイリーとさっちゃんのお話を聞き感想を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬がすきだから という理由だけではないことをおさえる。 ・真子さんの言葉を伝える。 ・ゆづきさんと真子さんのその後を伝える。 ・ベイリーが10才の記念に作られた絵本を提示し、昨年13才で死んだことも伝えて読み聞かせをする。
<p>振り返り 今日の学習を通して「生きる」とはどういうことかももう一度考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気でも一生懸命生きること。 ・がんばること。 ・自分にできることをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く。 ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分、子ども病院の子ども、ベイリーすべてに当てはめて考えるように伝える。

5. 板書計画

<p>スクリーン 最終発問 ふりかえり 「生きる」とは どんなふうに何をする事だろう。</p>	<p>ベイリー</p>	<p>めあて 生きる とはということだろう。</p>
	<p>ファシリテイドッグ</p>	<p>この子は何を思っているのだろう。</p>
	<p>子どもびょういん</p>	<ul style="list-style-type: none">・友だちに会いたいな。・外であそびたいな。・いたいのはいやだな。
	<p>いんないがっきゅう</p>	<p>どうしてみんなベイリーに会いたいのだろう。</p>
		<ul style="list-style-type: none">・いつもいっしょにいてくれるから。・もふもふできもちいいからあんしんする。・ベイリーは びょういんの友だちだから。

ワークシート

<p>おもて</p>
<p>どうしてみんなベイリーに会いたいのだろう。</p>
<p>.</p>

<p>うら</p>	<p>ふりかえり</p>
<p>「生きる」とは どんなふうに 何をする事だろう</p>	

事前授業での2年1組・3組児童の記述

「生きる」とは どんなふうに 何をすることだろう。

- ・びょうきになっても いのちはあるということ。
- ・たのしくあそんだりはったりじゆうにすること。
- ・じぶんがたのしみってえがおでいうことはいつかかわるときだってあるとおもうから。
- ・かぞくがいたり友だちがいること。
- ・あんしんしてくらすこと。
- ・ともだちづくり、かなしい、たのしい、うれしい、おこる。
- ・このよでまなぶことやたべることやうごくこと。
- ・楽しいかんじでいっぱいあそんだり つらいことでも楽しくすることを生きるということ。
- ・楽しいことをする。やりたいことをする。ともだちをつくる。
- ・どんどんせいちょうして、いろいろなことをおぼえること。
- ・じゆうになってしあわせになる。
- ・みんなといっしょにすごす。
- ・生きていてたのしい。
- ・ゆめをかなえること。
- ・なんでも やりきる。
- ・ずっといきていくこと。
- ・生まれていることがいきると思う。
- ・しぬまでのあいだにすること。
- ・たべものをいっぱい食べて 大きくなること。
- ・みんなと ともだちになって 生活すること。
- ・おっかないほど楽しいとき。そして、うれしいときやともだちとあそんだりするとき。いいことをするとき。
- ・ことばをいうこと。考える。
- ・じぶんのいのちをまもって、いろいろべんきようしたり、ごはんをたべたり、びょうきの人も、なおるといしきしてがんばる。いしきすれば、いしきするほどがんばれる。
- ・がんばってなんでもする。いやなこともやる。